



記者席

観光と医療のはざままで

○…那覇空港の国際線が再開したことに安堵（あんど）の表情を浮かべた喜友名智子県議（立憲おきなわ）。昨年11月に航空会社から国際線再開への課題を耳にしたこともあり「空港が機能していることにほっとした」と胸をなで下ろした。一方で新型コロナウイルスで切迫する医療機関へのさらなる負担増大も懸念し「観光客に対応できる病院が必要だ」と訴えた。観光業の復興に影を落とす、先行きの見えないコロナ禍に悩みは尽きない様子。